

第2次三条市食育推進計画

平成24年度実施状況及び平成25年度実施計画一覧表

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【乳幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
乳幼児健診における栄養指導	対象: 乳幼児健診参加者 内容: (1) 集団栄養指導 (3か月児・1.6歳児・3歳児健診) (2) 個別栄養指導 (10か月児健康相談会、1.6歳児・3歳児健診、2歳児・2.6歳児歯科健診) 実施日: 通年 (各健診月1回実施) 目標: 必要な方が栄養相談を受けられるよう体制を整える。	【集団栄養指導】 3か月児健診 延べ743人 1.6歳児健診 延べ751人 2歳児歯科検診 延べ723人 2.6歳児歯科検診 延べ729人 3歳児健診 延べ808人 【個別栄養指導人数】 1.6歳児健診 延べ136人 2歳児歯科健診 延べ111人 2.6歳児歯科健診 延べ92人 3歳児健診 延べ55人 相談件数の多い、1.6歳児健診、2歳・2.6歳児歯科健診は従事栄養士2人で対応した。 10か月児健康相談会は、対象者70人以上の場合従事栄養士6人で対応していたが、相談がスムーズに行えるよう、対象者60人以上は従事栄養士6人で対応した。	○	従事栄養士の人数が増えたことで、相談者の待ち時間が減り、スムーズに相談を受けられるようになった。	対象: 乳幼児健診参加者 内容: (1) 集団栄養指導 (3か月児・1.6歳児・3歳児健診) (2) 個別栄養指導 (10か月児健康相談会、1.6歳児・3歳児健診、2歳児・2.6歳児歯科健診) 実施日: 通年 (各健診月1回実施) 目標: 必要な方が栄養相談を受けられるよう体制を整える。
すまいるランドでの栄養相談 【ぱくぱく栄養相談】	対象: すまいるランド利用者 内容: 個別栄養相談 実施日: 通年 (月1回)	12回実施、延べ182人、月平均15.2人、希望者が前年度より多く (H23年度月平均10.4人) 当日の相談希望者に応じて、従事栄養士を1人から2人に増やした。	○	相談の希望者が多い日は、従事栄養士2人体制にしたため、相談者の待ち時間を減らすことができた。	対象: すまいるランド利用者 内容: 個別栄養相談 実施日: 通年 (月1回)
子育て支援センターでの食育講話	対象: 子育て支援センター利用者 内容: 調理実習及び食育講話 実施日: 随時	施設数 8施設 指導回数 17回 指導人数 延べ219組 評価 保護者から、手作りを心がけたいなどの感想があった。	○	子育て支援センターの要請に応じ、対応することができた。子どもが一緒にいることを考慮し、短時間でできる講話や調理実習を工夫しながら行った。	対象: 子育て支援センター利用者 内容: 調理実習及び食育講話 実施日: 随時

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
離乳食相談会	<p>【離乳食チャレンジ教室】 対象：生後5か月児と保護者 内容：管理栄養士講話及び離乳食調理実習、試食 実施期間：通年（月1回）</p> <p>【離乳食ステップアップ教室】 対象：生後7か月児と保護者 内容：管理栄養士講話及び離乳食試食 実施期間：通年（月1回） ※目標：「不安解消された」と答える参加者が80%以上</p>	<p>【離乳食チャレンジ教室】 12回実施、延べ224人参加、参加率28.5% アンケートの結果から「不安や疑問が解消された」が94.1%であった。</p> <p>【離乳食ステップアップ教室】 12回実施、延べ194人参加、参加率24.7% アンケート結果から「不安や疑問が解消された」が96.0%であった。</p>	○	参加者の不安や疑問を解消することができた。	<p>【離乳食チャレンジ教室】 対象：生後5か月児と保護者 内容：管理栄養士講話及び離乳食調理実習、試食 実施期間：通年（月1回）</p> <p>【離乳食ステップアップ教室】 対象：生後7か月児と保護者 内容：管理栄養士講話及び離乳食試食 実施期間：通年（月1回） ※目標：「不安解消された」と答える参加者が80%以上</p>

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【乳幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
保育所等巡回指導	対象 ：市内保育所児童3～5歳児 内容 ：5歳児を中心に料理カードを活用し、料理の3色分け等の食指導を実施 実施期間 ：通年 目標 ：1施設につき年6回程度実施	対象施設 29施設/全施設で実施 指導回数 延べ167回 指導人数 延べ3,784人 評価 ：子ども達は興味をもち、理解を深めることができた。	○	指導時期や内容を施設と相談しながら進めたので、施設に沿った指導ができた。また、指導が年1回のクラスに対しては、担任への情報提供が必要である。	対象 ：保育所児童3～5歳児 内容 ：食品カード等を利用して食指導を実施 実施期間 ：通年 目標 ：1施設につき年6回程度実施
保育所等食育講座	対象 ：市内保育所5歳児と保護者 内容 ：児童が栽培した野菜を使った親子クッキング、保護者への食育講話、給食会食 実施期間 ：通年 目標 ：食育講座に参加して良かったと答える参加者が96%以上	対象施設 29施設/全施設で実施 5歳児 ：参加率97.1% (対象者661人、参加者642人) 保護者 ：参加率93.6% (対象者652人、参加者610人) 評価 ：参加して良かったと答える割合94.7%	○	食育の推進を図る良い機会として、引き続き施設から保護者への参加を促してもらう。	対象 ：保育所5歳児と保護者 内容 ：児童が栽培した野菜を使った親子クッキング、保護者への食育講話、給食会食 実施期間 ：通年 目標 ：食育講座に参加して良かったと答える参加者が96%以上
保護者食育講話	対象 ：市内保育所3,4歳児保護者 内容 ：給食試食会等を活用して、保護者へ食育講話を実施する。 実施期間 ：通年 目標 ：市内保育所全体の30%以上で実施 (H23は28.7%)	対象施設 29施設/14施設で実施 実施率 48.3% 指導回数 延べ20回 指導人数 延べ438人 評価 ：目標は達成できた。	○	施設が積極的に保護者へ食育の啓発ができるよう、施設に働きかける。	対象 ：保育所3,4歳児保護者 内容 ：給食試食会等を活用して、保護者へ食育講話を実施 実施期間 ：通年 目標 ：市内保育所全体の40%以上で実施 (H24は48.3%)
保育所等調理体験保育	対象 ：市内保育所児童 内容 ：児童の調理体験を実施 実施期間 ：通年 目標 ：延べ110回実施 (H23は延べ102回実施)	保育所におけるクッキング保育の実施 実施回数 ：延べ109回実施 評価 ：目標をほぼ達成できた。 平成23年度平均実施回数 3.5回/施設 平成24年度平均実施回数 3.8回/施設	○	施設の統廃合により施設数が減少するなか、実施回数の大幅な増加は期待できないため、H25年度からは、1施設の平均実施回数で評価する。	対象 ：保育所児童 内容 ：児童の調理を通じた保育の実施 実施期間 ：通年 目標 ：一施設の平均回数が増えることを目標とする。平均実施数(実施回数/施設数割合)

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【乳幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
キッズ健康（肥満予防）教室	対象： 肥満傾向児とその保護者 内容： 医師講話、保健師及び管理栄養士講話、調理実習、運動実習 実施日： 11/2, 3, 10 目標： 対象者の50%以上が参加	公開講座： 11/2実施 参加数： 55人 教室： 11/3、11/10実施 対象者数： 98組 参加数： 延べ15組 参加率15.3% 個別面談： 9月～2月 参加数57人 参加率： 75.0% 評価： 目標を達成できなかった。	△	対象者には、保育所を通して案内やチラシを配布し、子育て支援情報メールの配信も行ったが、参加者は少なかった。後日、キッズ健康教室対象者に対し、栄養士による個別面談を実施した。事業計画を立てる際、教室参加者を増やせるよう内容を検討していく。	対象： 肥満傾向児とその保護者 内容： 医師講話、栄養士講話 実施日： 10月頃 目標： 参加して良かったと答える参加者が80%以上
米飯給食の実施	対象： 保育所児童 内容： 0～2歳児は完全給食、3～5歳児は副食給食の実施	米飯給食の他、午後間食に月3回程度おにぎりを提供した。	○	間食のおにぎりは子ども達に好評である。回数増加を目指す。	対象： 保育所児童 内容： 0～2歳児は完全給食、3～5歳児は副食給食を実施
指導者への食育研修会実施	対象： 保育士 内容： 第1回：畑やプランターを使用した野菜作り～春の苗植え～実技指導と講話 第2回：クッキング保育における実技指導、保育所における取組の紹介、グループワーク 実施日： (1回)5/10 (2回)1/30 目標： 参加して良かったと答える参加者が80%以上	第1回 5/10実施 参加者 29人（全施設） 第2回 1/30実施 参加者数 31人（全施設） 評価： 参加して良かったと答える参加者の割合 90%	○	参加者からは好評であったため、次年度もより実践的な内容で計画する。	対象： 保育士 内容： (第1回)畑の苗植えの実技指導及び講話、(第2回)未定 実施日： (第1回)5/9、(第2回)未定 目標： 参加して良かったと答える参加者が80%以上

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【学齢期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
学校食育推進事業	対象： 主に小学5年生及び中学1年生 内容： (1)身体状況の把握（血液検査及び身体測定） (2)管理栄養士等による個別指導（血液検査及び身体測定結果について） (3)食育講演会及び講話（専門家による講演会） (4)食育授業（栄養教諭等による授業） (5)親子食育教室（小学6年生と保護者を対象とした食に関する実習と運動実習） (6)保育所交流会（保育所児童と小学生の交流） (7)保護者対象の食育講話 実施期間： 通年 目標： 中1の食育授業評価において「これから食生活を良くしていこうという意欲が持てた」が70%以上	(1)身体状況の把握 実施者数： 小学5年生935人、中学1年生986人 (2)管理栄養士等による個別指導 参加者数： 小学5年生167人、保護者325人、 中学1年生241人、保護者310人 (3)食育講演会及び講話 参加者数： 小学5年生917人、保護者210人 中学1年生959人、保護者66人 (4)食育授業 参加者数： 小学5年生880人、中学1年生963人 (5)親子食育教室 参加者数： 小学6年生884人、保護者487人 (6)保育所交流会 実施校13校、小学生366人、保育所児童381人 (7)保護者対象の食育講話 実施校17校、保護者637人 目標： 中1の食育授業評価において「これから食生活を良くしていこうという意欲が持てた」は88.3%	○	学校における血液検査をもとにした食育の取組は少しずつ定着している。目標値も達成することができた。子どもたちの望ましい食の習慣化は、子どもだけでなく、保護者への啓発も重要である。引き続き保護者への講話にも重点をおいて取組を行う。 【身体計測及び血液検査結果において要指導以上の者】 計測：小5 11.3%、中1 12.2% 貧血：小5 24.7%、中1 30.7% 脂質：小5 10.5%、中1 10.1% 総合：小5 38.8%、中1 42.6%	対象： 主に小学5年生及び中学1年生 内容： (1)身体状況の把握（血液検査及び身体測定） (2)管理栄養士等による個別指導（血液検査及び身体測定結果について） (3)食育講演会及び講話（専門家による講演会） (4)食育授業（栄養士による食に関する授業） (5)親子食育教室（小学6年生と保護者を対象とした食に関する実習と運動実習） (6)保育所交流会（保育所児童と小学生の交流） (7)保護者対象の食育講話 実施期間： 通年 目標： 中1の食育授業評価において「これから食生活を良くしていこうという意欲が持てた」が70%以上

【青年期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
高校生への食に関する啓発活動	【食育授業】 対象： 高校生3年生 内容： 管理栄養士による食育授業の実施 実施日： 6、7月頃 目標： アンケート調査で「これからの食生活を良くしていこうと思う」の回答が65%以上	【食育授業】 参加者数： 県央工業高校3年生120人 実施日： 6/18、19、21 目標： アンケート調査で「これからの食生活を良くしていこうと思う」の回答が60.5% 【食育講座】 参加者数： 県央工業高校3年生196人 実施日： 12/12～14、17、18 内容： クリスマス料理の調理実習及び食育講話(北陸ガス共催)	△	食育授業のアンケート調査からは目標達成されなかったため、さらに理解が深まるような内容に工夫する。しかし、北陸ガスと共催で調理実習を行うことができ、生徒たちからも大変好評だった。平成25年度も実施予定。	【食育授業】 対象： 高校生3年生 内容： 管理栄養士による食育授業の実施 実施日： 9月頃 目標： アンケート調査で「これからの食生活を良くしていこうと思う」の回答が65%以上 【食育講座】 対象： 高校生3年生 内容： 調理実習及び食育講話 実施日： 12月

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【妊娠期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
妊婦教室における栄養指導	【パパママ学級 第一コース】 対象：5, 6か月の妊婦と夫 内容：講話「妊婦と家族の健康と食事」 実施日：4/14、6/23、8/25、10/20、12/8、2/23 目標：栄養の話について、「参考になった」参加者が85% (H23は82%)	6回実施、89組参加、参加率14.7% アンケートの結果から栄養の話について、「参考になった」と答えた妊婦が88%であった。	○	グループワークを取り入れ、楽しい雰囲気を実施することができた。	【パパママ学級 第一コース】 対象：5, 6か月の妊婦と夫 内容：講話「妊婦と家族の健康と食事」 実施日：4/13、6/22、8/24、10/12、12/7、2/22 目標：栄養の話について、「参考になった」参加者が85%

【壮年・高齢期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
健診結果説明会及び健康教室での栄養指導	【健診結果説明会での栄養指導】 対象：集団健診受診者 内容：個別栄養指導 実施期間：8～3月 【健康教室等での栄養指導】 対象：市民 内容：市民公開講座、生活習慣病予防教室食事編での集団指導 実施期間：10～12月	【健診結果説明会での栄養指導】 実施回数：33回、指導人数312人 【健康教室等における栄養指導】 市民健康アップ講座栄養講話 6回 74人 生活習慣病予防教室食事編 4回 48人	○	時間が無く、栄養相談を受けられない参加者もいるので、いつでも栄養相談を受けられるよう、相談会の流れを臨機応変に対応できるよう体制を整える。	【健診結果説明会での栄養指導】 対象：集団健診受診者 内容：個別栄養指導 実施期間：8～3月 【健康教室等での栄養指導】 対象：市民 内容：市民公開講座、生活習慣病予防教室食事編での集団指導 実施期間：10～12月
特定保健指導における栄養指導	対象：集団健診を受けた40～70歳の市民 内容：特定保健指導及び集団栄養指導 実施期間：通年	特定保健指導 初回面接実績463人 (H25. 3. 31現在)	○	昨年度までは管理栄養士は必要者の栄養指導が主であったが、今年度から初回面接から評価まで実施した。次年度も保健指導実施率を維持するよう現在の体制を維持する。	対象：集団健診を受けた40～70歳の市民 内容：特定保健指導及び集団栄養指導 実施期間：通年
在宅高齢者給食サービス事業	対象：70歳以上の一人暮らし、もしくは高齢者のみ世帯の方で、食の支援が必要と判定された方 内容：週1回夕食を配達し、併せて安否の確認を行う。 実施期間：通年（毎週木曜日） 目標：週1回当たりの平均利用者数が243人	4月時点での登録利用者は237人、新規登録者は36人で、延べ利用者は273人となるが、利用をやめたり、利用者の都合で給食を休むこともあり、1回あたり189人の利用となった。	○	利用をやめる人が、新規登録者を上まわり、登録利用者数はやや減少となった。また、高齢化や認知症により、利用券の受け渡しが困難になるケースも見られる。	対象：70歳以上の一人暮らし、もしくは高齢者のみ世帯の方で、食の支援が必要と判定された方 内容：週1回夕食を配達し、併せて安否の確認を行う。 実施期間：通年（毎週木曜日） 目標：週1回当たりの平均利用者数が248人

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
栄養・口腔講座	対象：さんちゃん健康サークル 認定団体 内容：栄養教育、食生活指導 実施期間：7月～3月末 目標：13回実施（食生活分野 について）	17回実施、延べ249人参加	○	目標値を上回る実績があり、食生活 への関心の高さが伺えた。今後も引 き続き事業を継続し、介護予防への 関心を高めていくとともに、今まで 1回も受講していないサークルに対 して積極的に働きかけていく。	対象：さんちゃん健康サークル 認定団体 内容：食育講話、食生活指導 実施期間：7月～3月末 目標：13回実施（食生活分野に ついて）

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
関係組織や団体と連携した健全な食生活の普及	【食生活改善推進委員協議会と連携した取組】 親子で食育(1/25)、メンズクッキング(11/6、29)、減塩普及活動	親子で食育 子育て中の保護者に食育講話や試食を通して食育の啓発を行った。 実施日：1/25 参加組数：16組(大人16人・子ども19人) 実施会員数：7人 メンズクッキング 男性に基本的な調理方法の指導や健康づくりのために減塩調理について啓発した。 実施日：11/6 11/29 参加者数：延べ33人 実施会員数：延べ人数 17人	○	親子で食育 市のパンフレットを活用して食育の話をした。試食では、天然だしについて関心を持った保護者に食推がパンフレットを用いて説明した。 メンズクッキング 内容の周知が参加者に不明瞭な点が指摘された。今後県委託事業との併用開催について周知方法の検討を行う。 計画を早め実施し、周知の時期を確保することで、参加者の増員を図る。	【食生活改善推進委員協議会と連携した取組】 親子で食育(11月予定)、メンズクッキング(11月予定)、減塩普及活動(6/22、10/5の健康ウォークにて実施)減塩測定結果を周知する。
公民館での健全な食生活実践に関する講座の実施	【中央公民館】 家庭教育講座 実施日：1/19 内容：家庭料理等の調理方法を学び世代間の交流を図る	家庭教育講座 実施日：1/19 参加者数：12人 アンケートから「とても良かった・良かった」という方が80%	○	参加された方には好評であったが、参加人数が少なかったため周知方法を工夫する。	
	【嵐南公民館】 さわやか大学(7回目)11月「生活習慣病予防」 ひまわり専科(2回目)6月「健康づくりのための食生活」 家庭料理講座(全7回) 5月～12月	さわやか大学(7回目) 実施日：11/14 参加者：18人 ひまわり専科(2回目) 実施日：6/27 参加者：22人 家庭料理講座(5～12月) 受講者数：延べ107人	○	さわやか大学、ひまわり専科については、受講生はとても熱心に聴講していた。 家庭料理講座は、講座の満足度は高い評価をいただいた。 料理に関する講座は、市民の関心が高いので、引き続き同様の講座を開催していきたい。	【嵐南公民館】 ひまわり専科(3講) 対象：成人女性 7月「健康づくりのための食生活」 家庭料理講座(全7回) 対象：成人 5月～12月
	【三条東公民館】 夏っこ広場(2回目)8月「手打ちうどん&動物とのふれあい体験」	夏っこ広場(2回目) 実施日 8/11、参加者18人 アンケートから「とても楽しかった、楽しかった」という方は81.2%	○	小学生向け連続講座のうちの1回として実施した。今後も楽しみながら食に関わるような企画を取り入れていきたい。	【三条東公民館】 季節の家庭料理教室 対象：主に東地区の成人 内容：旬の食材を使った料理についての講義と調理実習 実施日：6～11月
	【井栗公民館】 子ビッチお菓子作り教室 6月「季節のフルーツを使った菓子作り」	子ビッチお菓子作り教室 3回実施 延べ43人参加 アンケートから85%が「すごくお菓子作りが楽しかった」と回答	○	子供たちの要望(作ってみたいお菓子)を取り入れていきたい。	【井栗公民館】 子ビッチお菓子作り教室(全3回) 6月「フルーツを使ったお菓子作り」8月・1月

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
公民館での健全な食生活実践に関する講座の実施	【本成寺公民館】 手作りパン教室（全6回）9～2月 美味しんぼクラブ（全3回）6月、12月、2月 英国式紅茶教室（全1回）	手作りパン教室 6回実施 延べ56人参加 アンケートから「とても良かった」が100.0% 美味しんぼクラブ 3回実施 延べ25人参加 アンケートから「楽しかった」が100.0% 英国式紅茶教室 1回実施 30人参加 アンケートから「とても良かった、まあまあ良かった」が86.2%	△	手作りパン教室はテーマを絞ったためか、比較的若い人の募集が多かった。 また、紅茶教室については講師との打合せ不足で、「紅茶の淹れ方」の実演・実践がなされなかったため、参加者から不満が出た。次回は打合せを徹底する。	【本成寺公民館】 季節の料理教室（全6回）6～7、9～12月 美味しんぼクラブ（全3回）6月、12月、2月 コーヒー教室（全1回）
	【大崎公民館】 男の料理教室（全8回）4～12月 家庭料理教室 5月～1月 こどもエプロンクラブ 9月～11月	男の料理教室 8回実施 延べ83人参加 アンケートから「参加満足度」が80.0% 家庭料理教室 9回実施 延べ101人参加 アンケートから「参加満足度」が92.3% こどもエプロンクラブ 3回実施 延べ31人参加 アンケートから「参加して良かった」が91.6%	○	教室で習った料理を家庭でも作る事で復習となり、習得につながる。今まで開催してきた料理教室を見直しテーマに添った料理教室を開催。アンケートからも参加者には好評であった。 料理の楽しさを知ってもらうことができたのでよかった。	【大崎公民館】 男の料理教室（全4回）×2 ①6月～7月 ②11月～1月 こどもエプロンクラブ 8月・3月 家庭料理教室 5月～12月
	【大島公民館】 ①春・夏の家庭料理教室（全4回）5～8月 ②秋・冬の家庭料理教室（全4回）9～12月 ③初めての塩麴料理 6月15日 ④おこわだんご作り教室 3月8日 ⑤きっず！楽しくクッキング（全3回）1～3月	①実人数9人、延べ35人 ②実人数10人、延べ34人 ③実人数9人、延べ9人 ④実人数9人、延べ9人 ⑤実人数11人、延べ30人 定員①～⑤各12人	○	広報を工夫して、できるだけ大勢の参加が得られるように取り組んでいきたい。	【大島公民館】 ①春・夏の家庭料理教室（全4回）5～8月 ②男性料理教室（全5回）6～10月 ③秋・冬の家庭料理教室（全4回）6～10月 ④きっず！楽しくクッキング（全3回）12～2月

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策1 日本食を基本とした食生活の実践
 【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
公民館での健全な食生活実践に関する講座の実施	<p>【栄公民館】 子ども料理教室（全3回）12月～2月 目標値：アンケートで「大変良かった、良かった」の回答が7割以上 男の料理教室 スイーツ作り（全4回）9～12月 目標値：アンケートで「大変良かった、良かった」の回答が7割以上</p>	<p>子ども料理教室 3回実施 延べ48人参加 アンケートから「大変良かった、良かった」が88.2% 男の料理教室 スイーツ作り 4回実施 延べ32人参加 アンケートから「大変良かった、良かった」が100%</p>	○	<p>定期的・継続的に事業を実施し食育に対する理解を子どもたちに伝える。 今後も家庭での料理作りへの機会を促進できるようにしたい。</p>	<p>【栄公民館】 ・子ども料理教室（全3回）12月～2月 ・男の料理教室（全6回）6～12月</p>
	<p>【下田公民館】 女性セミナー 内容：第3回「旬のフルーツを使ったお菓子作り」 第4回「食とフィットネスで健康アップ」 実施日：第3回7/11、第4回8/30 目標値：事後アンケートで満足度「とても良かった」「良かった」の割合が80%以上 子ども料理教室 内容：第1回「美味しいパン作り」 第2回「夏のひんやりスイーツ」、 第3回「クリスマスケーキ作り」 実施日：第1回 7/26、第2回 8/17、 第3回 12/15 目標値：事後アンケートで満足度「とても良かった」「良かった」の割合が80%以上</p>	<p>女性セミナー 第3回：参加者22人 アンケートから「とても良かった」「良かった」が90.4% 第4回：参加者15人 アンケートから「とても良かった」「良かった」が86.6% 子ども料理教室 第1回：参加者20人 第2回：参加者18人 第3回：参加者16人 アンケート結果より3回とも「とても良かった」「良かった」が100%</p>	○	<p>女性、子どもともにアンケートの結果「とても良かった」「良かった」の割合が高く、満足度が高かった。 今後も食について学べる講座を考えていきたい。</p>	<p>【下田公民館】 女性セミナー 内容：第7回 お正月のおもてなし料理 11/15 子ども料理教室 内容：第1回ピザ作り 7/26、第2回ケーキ作り 8/23、第3回 クリスマスケーキ作り 12/21</p>

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策2 地域の農業や食文化を理解し、感謝の心を育む
 【幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
生産者交流会の実施	対象：保育所児童 内容：生産者講話及び会食 実施期間：通年 目標：8施設実施（H23は5施設）	従来は、保育所にたい菜漬等を納品している生産者と交流を行っていたが、生産者が高齢化し、納品不可能となり、実施できなかった。	×	一部の生産者と交流を行っていたが、H25年度は、保育所と関わっている生産者や給食納入業者との交流に拡大していく。	対象：保育所児童 内容：生産者講話及び会食 実施期間：通年 目標：10施設実施（H24は未実施）
保育所野菜作りの体験	対象：保育所児童 内容：児童の野菜栽培体験 実施期間：通年 目標：市内29施設で実施	施設の畑やプランター、近隣の畑等で野菜栽培をした。 対象施設 29施設 / 全施設で実施	○	畑のない施設はプランターを利用して行っているが、園庭のスペースを整備し、畑として活用する。	対象：保育所児童 内容：児童が野菜栽培を体験する 実施期間：通年 目標：市内29施設で実施

【学齢期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
生産者交流会の実施	対象：小中学校児童生徒 内容：生産者講話及び会食 実施期間：11月～2月 目標：市内小中学校20校実施（H23は17校）	市内小中学校14校実施し、参加児童生徒数は1,454人	△	H23よりも実施校数が減少した。実施時期を自由に設定できるよう、早めに計画する。	対象：小中学校児童生徒 内容：生産者講話及び会食 実施期間：通年 目標：市内小中学校17校実施（H24は14校）
小中学生の農業理解促進（学校教育田活用）	【学校教育田の実施】 対象：市内 22小学校 内容：協力農家と一緒に田植えから稲刈りまでの作業を体験し、農業や米に対する理解を深める。 実施期間：5月～11月 目標：農業や米に対する理解が深まった生徒が生徒が80%以上	（農業活性化プランから再掲）			【学校教育田の実施】 対象：市内 22小学校 内容：協力農家と一緒に田植えから稲刈りまでの作業を体験し、農業や米に対する理解を深める。 実施期間：5月～11月 目標：農業や米に対する理解が深まった生徒が生徒が80%以上
子どもが作る弁当の日	対象：小5・小6・中1・中2の児童生徒 内容：各学年が年3回程度実施する 目標：各校の取組の評価（4段階評価）で、肯定的評価が90%以上	全市小・中学校で延べ197回実施した。各学校の活動毎のねらいの達成度評価の結果は「大変良い」58.3%、「良い」36.7%で、両者合わせた肯定的評価は95.5%であった。	○	児童生徒が料理する大変さを実感したり自分で作ったものを食べる喜びを感じることができた。保護者からも協力を得られた。特に中学校では、学校で弁当作りの指導時間を確保することが難しく、時間の確保を工夫することが課題である。	対象：小5・小6・中1・中2・中3年の児童生徒 内容：各学年が年3回程度実施する 目標：各校の取組の評価（4段階評価）で、肯定的評価が90%以上

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策2 地域の農業や食文化を理解し、感謝の心を育む
 【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
農業者自らの食農教育支援（生き物調査活動）	対象 ：農地水保全管理支払事業取組 地域ほか 内容 ：田んぼの生き物調査 実施日 ：6月～8月 目標 ：参加者200人	（農業活性化プランから再掲）			/
関係組織や団体と連携した活動	【三条まんま塾と連携した活動】 みんなで朝活！農業体験ツアー 対象 ：市民 内容 ：ぶどうの栽培体験、野菜の収穫体験、朝食会等 実施日 ：6/10、7/22、8/26 目標 ：参加者数75人 プチ畑プロジェクト 内容 ：市内施設にて、野菜の生長を見ることで食べ物への感謝の気持ちを育てる 実施期間 ：6月～8月	みんなで朝活！農業体験ツアー 開催日 ：6/10、7/22、8/26（3回シリーズで実施） 内容 ：ぶどうの栽培、野菜の収穫、朝食会 参加者 ：111人（延べ） プチ畑プロジェクト（枝豆） 実施内容 ： ・さんしん15支店にプランター配布、各支店で世話 ・生育状況をホームページで公開 ・市民30人に苗をプレゼント ・収穫後のプランターに花苗を植え保育所へ 実施期間 ：6月～8月	○	みんなで朝活！農業体験ツアー 目標を達成した。アンケートから、ぶどうの収穫、野菜の収穫について、どちらも「大変よかった・よかった」が100%であった。 プチ畑プロジェクト 市民への周知が不足していた。	【三条まんま塾と連携した活動】 じゃがいも収穫体験 対象 ：市民 内容 ：田の草取り、じゃがいもの収穫、昼食会 実施日 ：6/16 その他 ：栄然酒会と共催 五十嵐川秋の味覚体験 対象 ：市民 内容 ：鮭のつかみどり、試食 他 実施日 ：10月下旬から11月上旬 その他 ：五十嵐川漁業協同組合と共催 プチ畑プロジェクト 内容 ： ・市民に枝豆の苗をプレゼントし、家庭で育ててもらう。 ・市内の病医院や駅にプランターを設置し、市民に生育の様子を観察してもらう。 実施期間 ：6月～8月

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画

基本的施策3 地元食材の積極的活用

【幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
地産地消給食の実施	対象：保育所児童 内容：地元農産物を積極的に取り入れた献立の実施	地元農産物の使用時期に合わせた献立を実施	○	天候不順により、急に使用時期が変更になることがある。できるだけ地元農産物を取り入れられるよう、生産者と密に連携をとっていきたい。	対象：保育所児童 内容：地元農産物を積極的に取り入れた献立の実施

【学齢期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
地産地消給食の実施	対象：小中学校児童生徒 内容：地元農産物を積極的に取り入れた献立の実施	地元農産物の使用時期に合わせた献立を実施	○	天候不順により、急に使用時期が変更になることがある。できるだけ地元農産物を取り入れられるよう、生産者と密に連携をとっていきたい。	対象：小中学校児童生徒 内容：地元農産物を積極的に取り入れた献立の実施
地元農産物利用促進事業	対象：学校・保育所給食 内容：給食に使用する地元農産物の積極的な利用拡大を図る 実施日：月1回（打ち合わせ会） 目標：三条産使用量 カロリーベースで50%	(農業活性化プランから再掲)			/

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画
 基本的施策3 地元食材の積極的活用
 【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
消費者ニーズの調査	対象 ：地産地消推進店等 内容 ：地元農産物消費拡大のためのアンケート調査を行う。（経済部と連携） 実施期間 ：6～8月 目標 ：地産地消推進店等のニーズを把握し、地元農産物消費拡大のための取組を実施する	地産地消推進店103店舗にアンケートを実施 回収率50% アンケートの結果から、地産地消推進店のピーアールの強化を望む声が多く伺えた。その一歩として、三条まんま塾と連携し、地産地消推進店マップ、紹介冊子を作製に幅広いピーアール活動を行った。	○	マップや冊子は好評で、お店からも追加してほしい等の声がたくさん聞かれた。	対象 ：地産地消推進店等 内容 ：地元農産物消費拡大のためのアンケート調査を行う。（経済部と連携） 実施期間 ：6～8月 目標 ：地産地消推進店等のニーズを把握し、地元農産物消費拡大のための取組を実施する
バイオマス資源の利活用の促進（食品残渣堆肥化）	【食品残渣の堆肥化事業】 対象 ：市民 内容 ：食品残渣を堆肥化し地元農家や家庭菜園で活用し、出来た地元農作物を地元で消費するなど地域循環型社会を目指す。 実施日 ：年間 目標 ：完熟堆肥化センターに年780tの生ごみを搬入し、堆肥化する。	年間で実施予定であったが、脱臭槽の不具合により、平成24年6月に施設外への臭気漏れが生じ、脱臭剤入替え等の作業を行うため、1か月間稼働を停止した。 生ごみの搬入量は年197tで目標の25%であった。	△	生ごみの搬入量が目標の25%であったことから、引き続き食品事業者を中心に搬入の協力要請を行う。	【食品残渣の堆肥化事業】 対象 ：市民 内容 ：食品残渣を堆肥化し地元農家や家庭菜園で活用し、出来た地元農作物を地元で消費するなど地域循環型社会を目指す。 実施日 ：年間 目標 ：完熟堆肥化センターに年226tの生ごみを搬入し、堆肥化する。（今年度より週1回三条地区の保育所の生ごみも搬入する。）
地産地消店の推進事業	対象 ：地場農産物等を積極的に取り扱う市内の小売店及び飲食店等 内容 ：認定基準に該当した地場農産物等の産地区分に応じて階級を付して、推進店として認定 実施期間 ：随時 目標 ：H24年度新規登録40店以上	（農業活性化プランから再掲）			対象 ：地場農産物等を積極的に取り扱う市内の小売店及び飲食店等 内容 ：認定基準に該当した地場農産物等の産地区分に応じて階級を付して、推進店として認定 実施日 ：随時 目標値 ：H25年度新規登録30店以上
関係組織や団体と連携した活動	【三条まんま塾との連携】 ・地産地消推進店認定制度の運用 ・地産地消フェアの実施（10月 三条マルシェにて実施）	（農業活性化プランから再掲）			対象 ：三条まんま塾 内容 ：三条まんま塾等関係団体が実施する取り組みを支援し、三条産米や旬の地元野菜等の活用を推進していくほか、品質、鮮度の向上、健康の増進等、市民からより求められる農産物づくりなどを目的とし、農業者が団体と交流、連携を図る。 実施日 ：通年 目標 ：事業参加目標人数 900人

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画

基本的施策4 食育の普及啓発

【幼児期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
給食だより作成	対象: 保育所児童及び保護者 内容: 家庭への食育情報提供 実施日: 毎月1回配布 目標: 第2次三条市食育推進計画の重点目標を含めた年間計画をたてて作成する。	年度当初に年間計画をたて、重点目標を入れた給食だよりを作成した。	○	引き続き、旬の地元農産物の情報とレシピの紹介は毎月取り入れていく。	対象: 保育所児童及び保護者 内容: 家庭への食育情報提供 実施日: 毎月1回配布 目標: 第2次三条市食育推進計画の重点目標を含めた年間計画をたてて作成する。

【学齢期】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
給食だよりの作成	対象: 小中学校児童生徒及び保護者 内容: 家庭への食育情報提供 実施日: 毎月1回配布 目標: 第2次三条市食育推進計画の重点目標を含めた年間計画をたてて作成する。	年度当初に年間計画をたて、重点目標を入れた給食だよりを作成した。	○	H25も年間計画をたてて実施するとともに、旬の食材や学校食育推進事業を紹介していく。	対象: 小中学校児童生徒及び保護者 内容: 家庭への食育情報提供 実施日: 毎月1回配布 目標: 第2次三条市食育推進計画の重点目標を含めた年間計画をたてて作成する。

【全年代】

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
食育メール	対象: 市民 内容: 三条市食育推進計画に沿った食育啓発資料を作成し、三条市ホームページ掲載及び病医院、銀行等へ印刷物の設置を行う。 実施日: 毎月19日発行 目標: 印刷物設置場所を10か所から20か所に増やす	毎月19日に作成し、ホームページに掲載及び公共施設や希望者にメール配信を行った。印刷物設置場所は124か所になった。	○	今後はメール配信希望者を積極的に募り、より多くの市民に見ていただけるようにする。	対象: 市民 内容: 三条市食育推進計画に沿った食育啓発資料を作成し、三条市ホームページ掲載及び病医院、銀行等へ印刷物の設置を行う。 実施日: 毎月19日発行 目標: メール配信の希望者を20人にする。
HP, 広報などを利用した啓発活動	対象: 市民 内容: HPや広報を効果的に活用するとともに、三条市の食育推進事業を紹介するパンフレットを作成する。 目標: パンフレットを作成し、しみん食育と農業のつどいで配布する。	市のホームページを活用して啓発活動を行った。また、寄付金を活用して、食育啓発ポスターを作製し、市内小中学校、保育所、病医院や飲食店等に掲示した。	△	市民に広く食育について啓発するためにポスターは効果的であった。次年度は食育推進事業を紹介するパンフレットを作成する。	対象: 市民 内容: HPや広報を効果的に活用するとともに、三条市の食育推進事業を紹介するパンフレットを作成する。 目標: パンフレットを作成し、しみん食育と農業のつどいで配布する。

平成24年度実施状況・反省及び平成25年度事業計画

基本的施策4 食育の普及啓発

事業名	24年度計画	24年度実施状況	評価	反省及び課題	25年度計画
市民給食試食会	<p>【子育て応援 給食試食会】 対象: 未就学児の保護者 内容: 地産地消給食の試食 実施日: 7月頃</p> <p>【市民給食試食会】 対象: 市民 内容: 地産地消給食の試食 実施日: 11月頃 ※目標: 定員を90%満たす</p>	<p>【子育て応援 給食試食会】 実施日: 7/23(月) 会場: 農村環境センター 和室、多目的ホール 参加者: 親子33組</p> <p>【市民給食試食会】 実施日: 11/12(月) 会場: 総合福祉センター多目的ホール 参加者: 118人 ※二つの試食会の参加率合計94.4%であり、目標達成した。</p>	○	<p>年2回の給食試食会は楽しみにしている市民が多く、リピーターもいる。市民が興味をもつイベントであるため、機会を逃さず積極的に食育啓発を行う。</p>	<p>【子育て応援 給食試食会】 対象: 未就学児の保護者 内容: 地産地消給食の試食 実施日: 7月頃</p> <p>【市民給食試食会】 対象: 市民 内容: 地産地消給食の試食 実施日: 11月頃 ※目標: 定員を90%満たす</p>
しみん食育と農業のつどい	<p>対象: 市民 内容: 食に関する講演会 実施日: 12月頃 目標: アンケートで「参加してこれまでと考え方が変わったことや発見、気づきがたくさんあった」の回答が75%以上</p>	<p>開催日: 12/15(土) 会場: 三条東公民館 内容: 講演「湘南の風に吹かれて豚を売る」 講師 宮治勇輔さん 参加者: 100人 参加者アンケートから「大変良かった」が63%、「良かった」が20%で合わせて83%であった。</p>	○	<p>周知活動等不足のため、定員には達しなかった。今後は対象者に合わせた目標人数の設定、また周知活動を工夫し、啓発活動を進めていけるよう委託先の三条まんま塾とよく連携していきたい。</p>	<p>対象: 市民 内容: 食に関する講演会 実施日: 12月頃 目標: アンケートで「大変良かった・良かった」の回答が75%以上</p>